

Nursery Rhyme in Perth

書店でナーサリーライム

一冊のお気に入りのナーサリーライム集をパースで。子どもだけではなく、ぜひ大人も読みたいナーサリーライムの本や絵本は、オーストラリアの書店でも取扱われています。

N

ブックマスターに聞く

R

PLANET BOOKS のマネージャーである Melinda Perrin さんにナーサリーライムやパースの本事情について伺いました。

Melinda Perrin
Melinda Perrin

「PLANET BOOKS」のマネージャー。学生の頃は英米文学を専攻し、過去には英語の教師を務めた経験もある。



Q

まず、Melinda さんにとってナーサリーライムとは？

A

ナーサリーライムは、深い歴史をもっていることが多いです。昔と今では言葉が少しずつ異なっているので、多くの方はナーサリーライムの歌詞に隠された本当の意味を知らずに読んだり、歌ったりしていると思います。その点が、ストーリー仕立てになっている一般的な絵本とは異なるでしょう。例えば、子どもたちが手を握って輪になって回りながら歌うナーサリーライムの「Ring-a-ring o' roses」ですが、この詩にはヨーロッパの暗い歴史が隠されていると言われています。17世紀にヨーロッパではペストが大流行し、何百万人もの人々が亡くなったという歴史がありますが、そのペストを罹って多くの方が死んでしまったという出来事が裏に隠されているのです。その他にも、橋が崩落してしまうという「London bridge is broken down」や子どもが木から落ちてしまうという「Rock-a-bye, baby」など、ナーサリーライムには少し怖い話が多いというのも一つの特徴かもしれませんね。



Q

オーストラリアで生まれたナーサリーライムをご存知ですか？

A

ナーサリーライムは、英国で生まれたものが多いようです。深い歴史を背景に作られたナーサリーライムは、比較的新しい国のオーストラリアでは、まだあまり生まれていないようです。ただ、私が英語教師をやっていた時、日本人の生徒に「Kookaburra sits in the old gum tree」というオーストラリアで生まれたナーサリーライムを教えたことがありました。しかし、このナーサリーライムには、あまり歴史的背景が隠されていないようです。

